

【道路政策に関するZ世代のレポート(令和6年6月)】

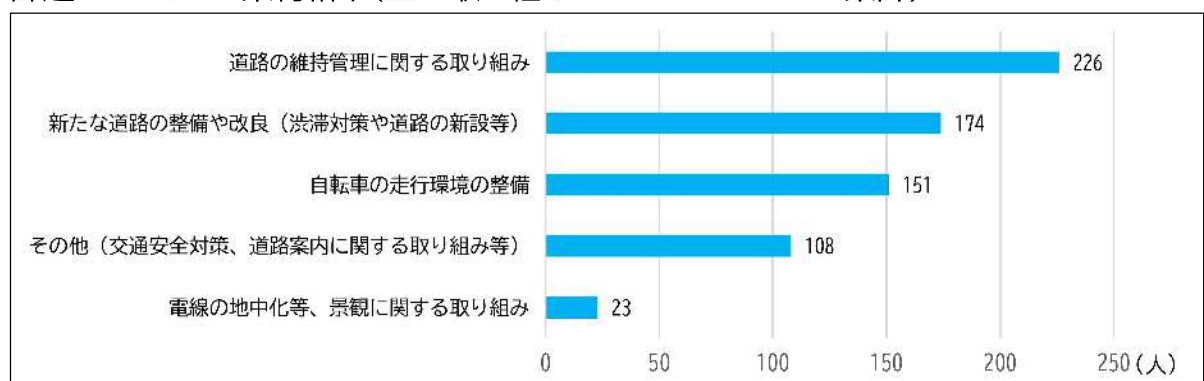
市道路計画課による講義「北九州市の道路政策について」で出題した課題に対する北九州市立大学2～4年生の学生401名からレポートを提出して頂きました。

<レポート課題>

昨年度策定した「北九州市基本構想及び北九州市基本計画」に基づき、「北九州市道路整備中長期計画」を今年度改訂することとしています。

課題1 北九州市の「道路整備」や「道路の維持保全」及び「道路の利用」等に関して、行政や民間に対して今後どのような取り組みに期待しますか。

課題1のレポート集約結果(主な取り組みをカテゴリーごとに集計)

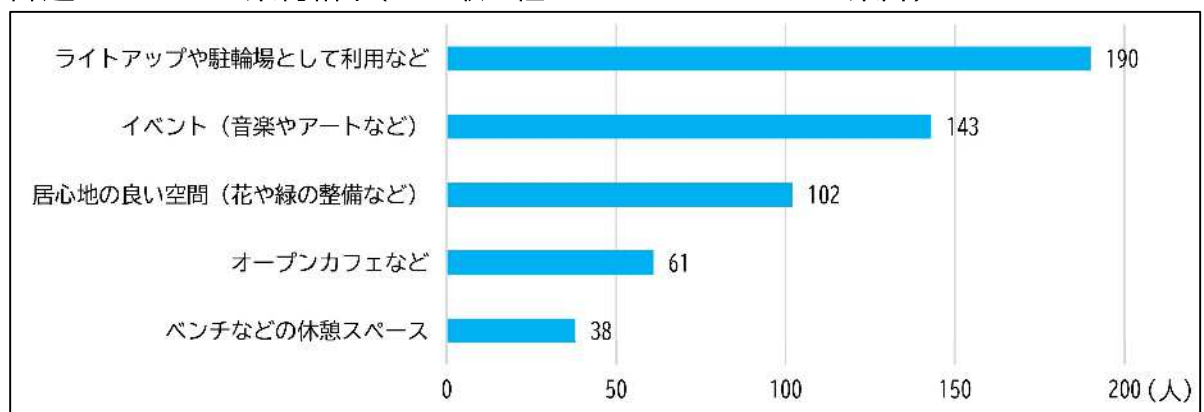


主な意見

- ・道路の凹凸や、草が生い茂っている箇所を改善して欲しい。
- ・自転車専用レーン等、自転車が走りやすい環境を充実させて欲しい。

課題2 自分ならどのように道路を利活用してみたいですか。

課題2のレポート集約結果(主な取り組みをカテゴリーごとに集計)



主な意見

- ・通行する人が音楽や芸術作品を楽しめるようなイベントをしたい。
- ・地域の人たちが協力し、花壇で花を育てるような場を作りたい。

(2)道路整備中長期計画の内容に関する意見

【北九州市の道路整備を考える懇談会】

本計画の策定にあたっては、学識者、事業者や道路利用者等、様々な分野の方々に構成する「北九州市の道路整備を考える懇談会」を実施し、幅広くご意見をお伺いしました。

○検討経緯

	開催日	内容
第1回	令和6年 8月6日	・北九州市の道路整備を考える懇談会について ・北九州市道路整備中長期計画(素案)について
第2回	令和6年11月21日	・第1回懇談会での意見とその対応について ・市民意見募集(パブリックコメント)結果について ・北九州市道路整備中長期計画(素案)について



▲懇談会の実施状況

○構成員名簿

分野	氏名	所属・役職
学 識 者	寺町 賢一	九州工業大学大学院 工学研究院建設社会工学研究系 教授
	内田 晃	北九州市立大学 副学長 地域戦略研究所 教授
事 業 者	福永 幸子	北九州商工会議所女性会理事
	阿部 政貴	西鉄バス北九州(株) 取締役営業本部長
	大瀬 博巳	福岡県トラック協会 北九州支部長
地域団体・ 道路利用者	井上 龍子	八幡駅前開発(株) 代表取締役社長
	村上 愛華	北九州市立大学 地域創生学群 地域創生学類4年
	藤井 身依	北九州市 PTA 協議会 副会長
	辻本 萌々花	九州工業大学 工学部4年

<第1回の主な意見>

- ・様々な人が学校帰りや仕事帰りに少し寄れる人工芝で囲まれた広場のような空間があると良い。
- ・学校周辺や通学路で街灯が少なく暗い道路では、女の子が一人でも歩けるようなみちづくりをして欲しい。
- ・バス専用レーンを一般車両が通行する等、道路の運用が守られていない。バスが快適に走れる空間という視点は非常に重要である。
- ・こどもや外国人に自転車の交通ルールの周知や啓発を行ってほしい。

<第2回の主な意見>

- ・(ほこみち制度による)道路空間のレンタルスペースとしての活用については、大学でも需要があるので推進して欲しい。
- ・自転車通行帯が整備されているにもかかわらず歩道を通行する自転車が多く見受けられるが、分かりやすい標識等の設置はできないか。
- ・インバウンド需要も増加しており、市内の様々な観光地を巡れるように、円滑な移動手段の確保が必要となる。
- ・今後はキックボードなどの新たな移動手段を考慮した道路整備を考えていく必要がある。

【市民意見募集(パブリックコメント)】

本計画に関する「市民意見募集(パブリックコメント)」を実施しました。市内18箇所(本庁、区役所、出張所)での資料の配布・閲覧、市ホームページでの閲覧や市政だより、市公式SNSでの周知を行ってご意見を募集した結果、市民の方から下記の項目に関するご意見が提出されました。

・意見募集期間:令和6年10月23日(水)～11月13日(水)

・意見提出人数:11人

・意見件数 :28件

項 目		件 数
ビジョン1 企業が稼げる強靱なまちを支えるみちづくり		5件
1-1	広域道路ネットワークの整備	4件
1-2	交差点における渋滞対策	1件
ビジョン2 人を惹きつけ、若者が集う、彩りある魅力的なみちづくり		7件
2-1	魅力的なみちづくり	4件
2-5	多様な交通モードに配慮したみちづくり	1件
2-6	防草対策の推進	2件
ビジョン3 安らぎのある暮らしを支えるみちづくり		6件
3-1	通学路の安全対策の強化	1件
3-2	生活道路の交通安全対策	1件
3-4	事故危険箇所の事故防止対策	2件
3-7	日常生活を支える道路の維持管理	1件
3-8	ICT等を活用した新たな道路の維持管理	1件
その他		10件
-	計画の概要、本市の道路を取り巻く状況、効果指標と目標値	3件
-	その他の意見	7件
計		28件

主な意見

ビジョン1 企業が稼げる強靱なまちを支えるみちづくり

- ・黒崎バイパス春の町ランプ供用に伴い、国道3号の渋滞が緩和されていると感じる。一方で、黒崎駅から南側に伸びる国道200号は渋滞が生じているが、今後、どのような対策を行う予定なのか。
- ・企業誘致や貨物の取扱量が増加すると、その周辺の道路の交通量が増えるため、新しい道路の整備や拡幅工事を行い、道路を適切に管理することが重要だと感じた。

ビジョン2 人を惹きつけ、若者が集う、彩りある魅力的なみちづくり

- ・ほこみち制度は、本計画のコンセプトである「未来への成長に向けて挑戦する魅力あふれるみちづくり」を進める上で、とても重要な制度であると考えている。今後、市内における導入事例がさらに増えていくよう、制度の周知等に取り組んでもらいたい。
- ・雑草で歩道が狭くなっている箇所があるため、本計画で謳われている防草対策の推進には大賛成である。

ビジョン3 安らぎのある暮らしを支えるみちづくり

- ・事故危険箇所については、次の被害者が発生しないように着実に事故防止につながる整備を進めて頂きたい。
- ・道路等損傷箇所市民通報システムは非常に有効なシステムだと考える。市ホームページ以外でも周知を行うべき。

(3)市民や道路利用者からみちづくりに求められている取り組みの視点

市民や道路利用者からいただいた道路政策に関するご意見やご要望を、今後のみちづくりに求められている取り組みの視点として整理し、第7章の施策に反映します。

意見種別	主な意見
パブリックコメント	■企業誘致や貨物取扱量の増加に伴い道路の交通量が増えるため、道路の新設や拡幅を行って道路を適切に管理することが重要 ★ほこみち制度は市内での導入事例を増やしてほしい ●雑草で通行に危険が生じたり歩道が狭くなっている場所があるため防草対策に大賛成である
市民意識調査	■道路の渋滞が多い ■幹線道路や都市高速道路、空港へのアクセスの整備が不十分である
市民アンケート	【全体】 ■交差点の渋滞対策や舗装の維持修繕が必要 ●歩道の段差解消や防草対策が必要 ★休憩できるベンチや日陰となる空間の整備が必要 ●安全に通行できる自転車レーン等の整備が必要 【子育て世代】 ●通学路の交通安全対策が必要 ●歩道の段差解消が必要(ベビーカー利用者) 【建設業、物流業】 ■交差点の渋滞対策や通勤や物流に便利な道路整備が必要 【車椅子、電動カート利用者】 ●歩道の段差解消や放置自転車の対策が必要 【公共交通利用者】 ★バス停付近のベンチ設置や上屋の整備が必要 ▼駅やバス停付近に駐車場、駐輪場の整備が必要 ▼駅からバス停の乗り継ぎ経路上のルーフ整備が必要
Z世代のレポート	●道路の凹凸や草が生い茂っている箇所を改善してほしい ◆自転車走りやすい環境を充実させてほしい ★道路を活用して通行する人が楽しめるイベント(音楽やアート等)をしたい
道路利用者ヒアリング	【福祉団体】 ●可能な限り舗装の凹凸を減らしてほしい 【製造業、物流業等の企業】 ■工場地帯や北九州空港へのアクセス強化が課題 ●工場周辺的生活道路の安全対策が必要
北九州市の道路整備を考える懇談会	★様々な人が学校帰りや仕事帰りに少し寄れる人工芝で囲まれた広場のような空間があると良い ▼バス事業者、鉄道業者など上位からタクシー業などのミクロの企業との連携を図り、無駄な競争を廃し、少しでも公共交通の持続可能性を高めていく必要がある ▼バス専用レーンを一般車両が通行する等、道路の運用が守られていない。バスが快適に走れる空間という視点は非常に重要である。

取り組みの視点

■渋滞せずに移動しやすい道路ネットワークの整備

●安心して通行できる歩行空間の整備

★歩いて楽しい魅力的な歩行空間の創出

◆安心して自転車を利用できる環境の形成

▼利便性の高い公共交通の利用環境の整備

施策に反映